



宮代地区まち協通信

第 86 号

発行日
令和 3年 2月 1日

2021年



南宮大社の「丑」

雪の三島池

撮影：福本莞さん

三島池は、米原市伊吹山の麓にあり、700年前に作られた農業用のため池です。その立地の利を活かすがごとく、背後に伊吹山がそびえる風景で知られています。池の中央付近には「日本最大級の雪見灯籠」なるものがあります。



令和3年度 ふれあいサロンについて

宮代地区ささえあい連絡会

目次

- 《令和3年度 ふれあいサロン》
- 行事予定 (1月度)
- 《宮代地区黄色いタスキ大作戦》
- 活動報告 《12月-1月の活動》
- 文芸の広場 中山社 北野俳句会
- 関ヶ原合戦(其のⅦ) 浅野幸長陣跡
- 編集後記

宮代地区の「いきいきふれあいサロン」は高齢者のふれあいの場として開催され、令和元年度は、5回/年を開催し各50名程度の参加者がありました。

令和2年度は、コロナ感染症拡大を防止することでサロンは全て中止し、2回の「脳トレ」お便り通信を発行しました。

1月13日(水)まちづくりセンターで、令和3年度の「ふれあいサロン」の開催内容・方法について、関係のボランティアの方々23名が出席し全員から意見を頂きました。

意見は、①感染症対策を行い、出席者を制限した、出前サロンをする。②高齢者が集まるサロンはリスクが高いので中止する。③コロナ感染症の収束

までは中止し、収束後に実施するに纏められます。

現在、コロナ禍でより家に閉じこもりがちになり、人との接触が制約される「新たな日常」の“ふれあい”を、打合せの意見をもとに、④お便り通信(脳トレ・ぬり絵他)の発行、⑤出前サロン(収束後)の開催、⑥その他を進めていきます。地区の皆様からのご意見をお願いします。



No.5 環境整備部のまちづくり

《環境にやさしいまち》

生活環境の向上や不便さの解消改善などの協働環境整備でまちづくり

行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	5日,19日 18:30~20:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	絵手紙教室	7日,21日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
3	シニアはつらつ教室（健康運動講座）	8日 13:10~15:00	月	まちセン 大会議室	会員募集中
4	子どもふれあい授業「和楽器を学ぶ」	17日 9:00~12:00	水	小学校 音楽室	
5	まちづくり講演会	27日 13:30~15:00	土	まちセン 大会議室	「困っている子ども達に 今、私たちが出来ること」

宮代地区「黄色いタスキ」大作戦

宮代地区連合自治会（自主防災隊）

うちの家族は大丈夫！「黄色いタスキ」を全ての世帯に備える活動を展開します。

うちの家族は大丈夫！黄色いタスキ大作戦とは大規模な災害（地震）が発生した際、家族全員が無事で救助や救援が必要でない場合に「他の方を助けてほしい。」という目印として「黄色いタスキ」を玄関先など道路から見える場所に掲げていただくものです。これにより、無事である世帯と無事でない世帯を一目で確認でき、助けてほしい世帯には自主防災隊（自治会）や消防・警察などの救助が早く行われます。このように、黄色いタスキを掲げることで『安否確認』を短時間で容易に行う事ができます。



黄色いタスキ



保管例

同封のチラシと具体的な取り組み方

【基本ルール】

- ①震度5弱以上の地震が発生したときに行います。
- ②家族全員が無事で救助や支援が必要でない場合、黄色いタスキを玄関先など道路から見える場所に掲げます。
- ③地震発生後、最低三日間は掲げておきます。

宮代地区連合自治会（自主防災隊）はこの活動を行い地区の皆さんの安全・安心を確保する運動を展開します。

2月に各自治会から透明封筒に入った「黄色いタスキ」を配布します。ご家庭の所定の場所に保管下さい。

（令和3年度より具体的な取り組み方法を協議します。）

黄色いタスキ
掲示例

道路から見える
場所に掲げ
て下さい



「うちの家族は大丈夫！」
黄色いタスキ大作戦 タスキを全世帯配布！

○目的：災害の後、家にいる家族が全員無事だったら（救助などの必要がない状況だった）、黄色いタスキを玄関先に掲げてください。
ご近所の皆さんに「うちの家族は大丈夫！」と知らせる目印です。

【実施基本ルール】

- ① 震度5弱以上の地震が発生したときに実施
- ② 黄色いタスキを道路から見える場所に掲げる
- ③ 地震発生後、最低三日間は掲げて置く

宮代地区 自主防災隊・連合自治会・まちづくり協議会

【具体的な取組方法】

地震発生!!

【発生直後】

- ①地震発生（地震発生時）
- ②家の外へ避難し、初期消火
- ③避難の安全確認
- ④安全確認が完了後、出口付近に「黄色いタスキ」掲出

【自治会連長（自主防災隊連長）へ報告】

①「レール」のガス栓を確認し止める
②各世帯で黄色いタスキが掲げられている確認
③黄色いタスキの掲げられていない場合は、安全の許可後、無事な世帯の方にお願いし、懸念・救助、消火活動の状況を確認する。必要に応じて追加の対応を行う。

④無事な世帯の家族を行う
⑤個人より黄色いタスキが掲げられていない世帯（無事な世帯）を把握し、掲げられていない世帯（無事でない世帯）の把握、必要な支援を行う。

【自治会連長（自主防災隊連長）へ報告】

①「一斉避難訓練（自治会（自主防災隊）で実施した訓練）」へ参加
②各世帯の把握（自主防災隊連長、連長、自主防災隊が把握した世帯（無事な世帯）を把握していない世帯（無事でない世帯）の把握、無事な世帯の把握（自主防災隊連長）へ報告する
③避難訓練に備えていない世帯の把握（必要に応じて、個人・世帯）へ無事な世帯、無事な世帯の把握（無事な世帯）へ報告する

【家に避難ができて生活できない場合】

①指定避難所へ避難し、避難生活を行う
②指定避難所へ避難した場合は、避難生活の確保・支援に協力する

活動報告



12/21~1/20



会員募集中

音(おと)楽(らく)倶楽部クリスマス会(12/24)



会員募集中

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」(12/23)



会員募集中

現在緊急事態宣言に伴い休止中

宮代健康マージャンクラブ (12/28)



会員募集中

水墨画教室(1/8)



子ども会育成会役員会(1/8)



会員募集中

シニアはつらつ教室(1/17)



ささえあい連絡会合同会議 (1/13)



体推役員会 (1/16)



会員募集中

ラフターヨガクラブ(1/16)

まちの風景



南宮大社 初詣 (1/1)



大領神社歩射祭(1/17)

宮代伝統の句会、身を地に託し
その心を言葉の華と咲かせて
届けて下さる人がいます……

おい
*おみくじの 大吉と出る 老いの春

大羽 志津子

*短日や 換気の窓に 人の声

三和 光子



*赤き芽よ 春の香ふふむ 安息日
清水 るり

*旅立ちや 梅のかおりと やってくる
中嶋 結映

関ヶ原合戦 南宮山とその周辺の陣跡

其のVII 浅野幸長陣跡(垂井一里塚付近) まち協 総務部

浅野

よしなが 幸長は、豊臣五奉行の筆頭であった浅野長政の嫡男として、近江国志賀郡坂本で生まれる。父長政が、豊臣秀吉の正室ねね（北政所）と義兄弟の関係であり、幸長は甥にあたった。そのような関係から、父とともに秀吉に仕え、小田原の役に15歳で初陣、その後も朝鮮の役で武将としての頭角を現し、甲斐国府中（山梨県甲府市）16万石の領主となった。

秀吉の死後、奉行衆筆頭で文治派の石田三成と対立。加藤清正、福島正則、黒田長政、細川忠興、加藤嘉明、池田輝政ら武断派に与し、前田利家の死後、三成襲撃事件（七将襲撃事件）に参加した。

関ヶ原合戦では、豊臣恩顧の大名でありながら東軍に属し、序戦で先鋒を務め池田輝政らと岐阜城を攻略した。本戦では約6,500の兵を率い垂井一里塚付近に陣を構え、池田輝政らとともに南宮山の毛利秀元・吉川広家らの西軍諸隊に備えた。南宮山の西軍は、家康と内通し傍観のかたちをとり動かなかったため、終日本戦に加わることなく対峙したままで終わった。

戦後はその功により加増され紀伊国和歌山37万6千石を与えられ、和歌山藩初代藩主となったが慶長18年（1613年）、幸長の死後嗣子がなかったため、弟・長晟（次男）が家督を相続しその後安芸国広島藩（福島正則の後）に加増転封し、安芸浅野家として幕末まで存続した。

なお、赤穂浪士で有名な赤穂浅野家の浅野内匠頭（浅野長矩）は幸長の弟・長重（三男）の曾孫にあたる。



浅野幸長 肖像画



浅野幸長 陣跡

2月・3月の休館日
2月 2日(火)、9日(火)
16日(火)、23日(火)
3月 2日(火)、9日(火)
16日(火)、23日(火)、30日(火)



編集後記：★コロナ禍に見舞われもう一年になりますが、岐阜県は緊急事態宣言の対象区域に指定されました。新型コロナウイルス感染症は猛威を振るい、収束の見込みが立っていません。感染予防対策を実行して「コロナにかからない」ことを徹底したいものです。★まちづくりセンターは、この時期令和3年度の自治会を始め協議会諸団体の新役員の報告をお願いしております。★不安な時が続いておりますが、関係の皆様のご協力よろしくお願いします。



編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



紙面充実に皆さまのご意見をお寄せ下さい

宮代の冬景色の特徴 雪の季節来近し